

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		理学療法士学科		科 目 区 分		専門分野	授業の方法	実習
科 目 名		総合臨床実習Ⅰ		必修/選択の別		必修	授業時数(単位数)	320 (8) 時間(単位)
対 象 学 年		3年生		学期及び曜時限		前期	教室名	
担 当 教 員		専任教員	実務経験と その関連資格	指定規則の研修を受講した理学療法士。				
《授業科目における学習内容》								
診療参加型臨床実習を通して基本的な理学療法を遂行できる能力を培う。								
《成績評価の方法と基準》								
臨床実習成績 60%、学内セミナー・実習出欠状況など 40%で評定する。								
《使用教材(教科書)及び参考図書》								
教科書・参考書・講義資料など。								
《授業外における学習方法》								
【実習前】オリエンテーション(実習の具体的な目標の確認)や実習前準備(各種疾患の症状・病態像の整理、検査・測定など患者を想定した実技練習、各種疾患における動作観察・分析のポイントの確認など)、実習前OSCEを行う。【実習中】事前学習(実習内容の確認・準備)、事後学習(実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など)を行う。【実習後】学内セミナー(実習報告会など)、実習担当教員からのフィードバック、実習指導者からの実習生評価をもとに実習での課題を確認する。								
《履修に当たっての留意点》								
実習生としての態度・マナーに留意し、事前の準備、実習指導者とのコミュニケーションを心がけ、主体性のある有意義な実習を送ること。								
授業の方法			内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。			教科書・参考書・ 講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分)	
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。オリエンテーション。				(事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)	
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。			教科書・参考書・ 講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分)	
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。				(事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)	
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。			教科書・参考書・ 講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分)	
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。				(事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)	
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。			教科書・参考書・ 講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分)	
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。				(事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)	
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。			教科書・参考書・ 講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分)	
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。				(事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)	

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。		
第7回	実習形式	各コマにおける授業予定	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	ある程度の助言を受けながら基本的な理学療法を遂行できる。	教科書・参考書・講義資料など	(事前学習) 実習内容の確認・準備(30分) (事後学習) 実習内容の整理・振り返り、課題について調べ学習など(30分)
		各コマにおける授業予定	診療参加型臨床実習の考えに基づき、見学-模倣-実施の流れで、コミュニケーション方法、臨床思考過程、理学療法技術等、基本的な理学療法を学ぶ。まとめ。		